

一般書

『それでも前へ進む』

伊集院静／著 講談社文庫

表紙

この本は、著者がこれまでの人生の中で出会い、そして別れた人々や、旅先で目にした風景などに思いを馳せ、心に感じたことを著したエッセイ集です。電車をモチーフにして描いており、“人生”という長い電車の旅の途中に出会い、通り過ぎて行ったあるひとつの景色を映した、という印象を持ちます。読書の秋にして何となく寂しい気持ちになるこの季節に、しっとりとした1冊はいかがでしょうか。

児童書

『パインさんのごちゃまぜかんばん』

レオナード・ケスラー／著

表紙

パインさんはかんばん屋。どんなかんばんでも作ることができます。古くなった町中のかんばんを作りかえたパインさんですが、いざかんばんを取りつけるとい日にメガネが見あたりません。よく見えないままかんばんをとりつけたため、町中がたいへんなさわざに!!ハラハラ・ドキドキがとまらないお話。挿絵も多く、絵本のように楽しめる作品です。

9月の予約ランキング

一般書

- 1 葦のみち 創刊号(1989)／三郷市史編さん委員会
- 2 バリ山行／松永K三蔵
- 3 わたしの知る花／町田そのこ

児童書

- 1 もうじきたべられるぼく／はせがわゆうじ
- 2 くまとやまねこ／湯本香樹実
- 3 だるまさんが／かがくいひろし

AV資料

- 1 ANTENNA／Mrs. GREEN APPLE
- 2 アムニージャック／レディオヘッド
- 3 濃縮キング・クリムゾン1969-2003／キング・クリムゾン

『スポーツの日と読書週間』

10月はスポーツの日と読書週間が同居しています。令和2年に「体育の日」から「スポーツの日」に改められて今年で5年目。平成12年からはこの国民の祝日も、10月10日から10月の第2月曜日の移動祝日となってすっかり定着しています。また、10月の一か月間は「体力づくり強化月間」にもなっています。

一方、読書週間は10月27日から始まり、「文化の日」の前後2週間となっています。読書週間の始まりが戦後間もない昭和22年の事で、歴史ある行事の一つと言えます。さらに、10月27日が「文字・活字文化の日」に制定されていることから、本の大切さ・文字活字の重要性を感じます。ちなみに新聞週間というものもあり、期間は10月15日から21日で、今年の標語は

「流されない 私は読んで 考える」です。

10月は体を動かし一息入れて読書する、そんな時間を費やしても良いかもしれませんね。

【参考図書】

- ・記念日・祝日の事典 東京堂出版 加藤迪男編
- ・子どもに教える今日はどんな日? PHP 研究所
- ・現代こよみ読み解き事典 柏書房
- ・信濃毎日新聞 2024/9/5
- ・内閣府ホームページ



【10月の企画(テーマ)展示】

◎全館

秋の読書週間 10/22~11/10

○各館

図書館	一般書	児童書
中央	光と影	モンスター
豊科	前半:小説×映画 後半:秋の読書週間	おいしいお話いただきます
三郷	ミステリー	ドキドキハロウィン
堀金	いも・くり・かぼちゃ	あきといえば?
明科	怖い話	名探偵コナンの名探偵

編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎84-0111
- 豊科図書館 ☎71-4022
- 三郷図書館 ☎76-3078
- 堀金図書館 ☎72-3601
- 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>



※編集後記※
稲刈りもそろそろ一段落して外の風景もすっかり秋の装いになり、これから徐々に鍋料理が恋しい季節になります。昨今は、鍋もバラエティに富んだ具材を楽しむ人も増えていくようですが、いち早く食のレシビをキヤッチしたい方には料理関係の記事が多い月刊誌がお薦めです。是非活用ください。

★文字の読書が困難な方は、図書館へご相談ください★